

## 第41回日本口腔インプラント学会学術大会に参加して

メインテーマ

### 「インプラント医療安全の推進行動」

日時:平成23年9月15日(木)~18日(日)

場所:名古屋国際会議場



佐々木裕道 (新潟県)

平成23年9月15日(木)から18日(日)にかけて名古屋国際会議場において第41回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会(第32回公益社団法人日本口腔インプラント学会中部支部総会・学術大会併載)が開催されました。

今年は例年になく残暑厳しくとても秋とは思えない程の日々が続いております。この名古屋での学会も駅から歩くだけで汗ばむほどの陽気でした。

今回のメインテーマは「インプラント医療安全の推進行動」あり、インプラント治療を行う者にとっては大変重要なテーマであり、真剣に永続的に考えていかなければならないテーマだと思われま

す。初日はケースプレゼンテーション試験が朝から行われました。日本インプラント臨床研究会からは14名の先生方が受験されました。

2日目の夜はCisjの懇親会がありました。一次会は名古屋でも指折りの料亭「か茂免(かもめ)」で69名もの参加者があり、大変盛り上がりました。二次会も26名もの参加がありました。

3日目は朝10時から水口稔之先生、若井広明先生、山田嘉宏先生のご口演がありました。ランチョンセミナーでは井汲憲治先生により「より確実なガイドッド・サージェリーの進め方について—ExpertEaseを使用したXiVVEインプラントの臨床を中心に—」と題して行われました。また同じくランチョンセミナーで草間幸夫先生によりIPS e.maxシステムのご講演がありました。イブニングセッションには座長に井汲憲治先生、講師に田中讓治先生で「インプラント補綴の変改となりうるCAD/CAM先端技術」と題して行われました。



4日目は森進太郎先生、岩本麻也先生、古市嘉秀先生、鈴木祐輔先生、小嶋榮一先生、浅賀知記先生、鈴木郁夫先生、関康宏先生のご口演がありました。ランチョンセミナーでは昨日に引き続き草間幸夫先生によりCAMLOG Digital Solutionと題してご講演がありました。午後からは脇田智文先生、松井力先生によるポスター発表がありました。

私は3日目(土)の夜に名古屋に入りましたので学会には最終日しか参加できませんでしたがあちこちで熱の入った講演等で活気あふれており、次回からはせめて3日目から参加したいと思います。最後に情報不足の私にいろいろと情報を提供して下さいました古市先生、田中先生、笹谷先生、事務局波多野様に感謝致します。